

# 学園 だより

- 2 ■ 卒業式・修了式を迎えるにあたって
- 4 ■ 進学・就職体験記
- 6 ■ 第54回工嶺祭
- 8 ■ 学生の活躍
- 12 ■ 後援会だより／校内短信／表紙のことば

# 卒業式・修了式を迎えるにあたって



校長  
土居 信数

## Enjoy your life and good luck!

卒業・修了おめでとうございます。  
みなさんはすでに社会に出て行く準備ができています。少し不安かも知れませんが大丈夫です。すぐに仕事をこなすことができるようになります。みなさんには新しい知識や技術を習得する基礎はしっかり身につけています。知らないことやできないことは少しも恥ではありません。自分で勉強したり人から教えてもらったりして身につければよいのです。一つだけ、報告・連絡・相談(報連相)には気を付けてください。報連相はチームワークの基本です。  
長い人生、誰にでも良いときもあれば悪いときもあります。調子のよいときはおごりに注意してください。調子の悪いときはくさらないでください。有名な経営者である稲盛和夫の名言に、『世の中に失敗というものはない。チャレンジしているうちは、失敗はない。あきらめた時が失敗である。』という言葉があります。ときどきは長野高専のことを思い出してください。時間が経つと故郷や母校のよさが分かってきます。さあ旅立ちの時です。

## Best Kosen Forever



5M 赤澤 虎太郎  
(松本市立高綱中学校出身)

高専生活を振り返ると、部活を思い出します。高校総体や高専大会に向け、特に頑張った3年間は辛い時もありました。しかし、仲間と練習に励み、自分の記録を更新できた時は、本当に嬉しく、今の自分を作る大切な思い出です。  
また、3、4年生ではルーム長をやらせていただきました。最初は嫌々やっていたのですが、「みんなのきもち」が一つになり、クラスマッチで総合2位を取れた時は本当に嬉しかったです。そして、自分たちを5年間導いてくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

## 高専生活を振り返って



5E 宮澤 元輝  
(長野市立中条中学校出身)

この5年間は、長いようで過ぎてみるとあっという間でした。振り返ると、勉強や部活に真剣に取り組むことができ、とても充実した日々を過ごせたように感じます。  
私は吹奏楽部に所属していました。定期演奏会やコンクールなどの日々の演奏はもちろん、みんなで遊んだり話したりした1つ1つが思い出として大きく残っています。  
こんなに楽しい学生生活をおくれたのは、高専で出会えた先輩方、後輩、そして同輩、全ての人のおかげです。本当にありがとうございました。

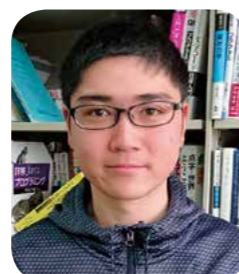
## 出会いに感謝



5S 前田 大和  
(信大附属松本中学校出身)

私は親のすすめでこの高専に入学を決めました。機械に対する知識、興味がほとんど無かったため、不安ばかりの高専生活が始まりました。はじめのうちは勉強面で苦労しましたが、部活や寮生活を通して多くの人と交流できました。高専は自分の知らないことを知っている少し変わった人ばかりなので、一緒にいてとても楽しかったです。  
気づけば、入学当時の不安は無くなり、楽しく充実した高専生活を送っていました。これからも出会いを大切に、頑張っていきたいです。

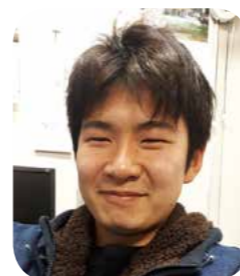
## 高専生活で学んだこと



5J 松里 天  
(小諸市立小諸東中学校出身)

高専生活は、失敗と成長の連続でした。私が経験した失敗の中でも最も大きな失敗は、2年次に一度留年したことです。  
留年が決まった時、私の胸中にはこれからどうすればいいのだろう、という不安ばかりありました。しかし、友人や両親、そして先生方の支えによって留年から立ち直ることができました。この出来事を通して、私は人との繋がりの大切さを学ぶことができました。この経験は、今後の人生においてもかけがえのない宝となりそうです。

## これまでとこれから



5C 神宮 樹  
(所沢市立山口中学校出身)

5年間という時間は過ぎていくうちは長く感じるものですが、過ぎてしまうとあっという間でした。  
入学前は県外出身ということもあり、不安でしたが、沢山の仲間に出会いました。また、部活動の先輩、同級生、後輩にも恵まれ、部活に打ち込むこともできました。  
5年間という歳月で僕は色々なことを学ばせていただきました。  
来年から大学に編入しますが、高専で色々経験したことを活かして、大学生としてこれからも頑張っていこうと思います。

## 経験豊富な2年間



2AP 滝沢 祐太  
(飯山市立城南中学校出身)

専攻科での2年間は内容の濃いものでした。専門に囚われず、様々な知見を得ることができました。その中でも長期インターンシップは自分の中でも特別なものとなりました。自分は台湾で3ヶ月間インターンシップを行ないました。  
異国の地での生活を通して、沢山の友人と経験を得ることができました。この3ヶ月は自分がどのような人間なのか再認識することができました。これらの経験は就職活動でも強みとなりました。これからも高専で得た経験を生かして、精一杯社会人として邁進していきたいです。

## Life is just a journey



2AE 小林 希  
(長野市立七二会中学校出身)

私の7年間で200字にまとめるのは難しいですが(笑)、高専に入り、専攻科まで在籍して良かったと思うことは、研修・インターンシップ・学会などで、海外へ行く機会を多くいただけたことです。日本を出ることで日本の良い部分や課題を知り、考え方が広がりました。後輩のみなさんも、チャンスがあればどんどん広い世界を見てきてください。最後に、たくさんの出会いに恵まれたことに感謝しています。ありがとうございました。

## 担任の先生より

### これからが真骨頂

5M担任 長坂 明彦

これから辛いこともたくさんあると思いますが、どんな時も笑顔で、ねばり強さと平常心を忘れず頑張ってください。みなさんはこれからが真骨頂です。高専生としての自信と誇りをもって、一人一人が活躍されていくことを祈念いたします。



### 楽しみながら難問に挑戦を

5E担任 渡辺 誠一

皆さんたちは様々な道で人類の幸せのために活躍されるかと思います。先人や仲間の知恵も借りて、慌てず、楽しみながら難問に挑戦して下さい。また、周囲の方々に感謝しながら生活していただきたいです。皆さまのご活躍を祈念しています。



### 次の道へ

5S担任 中山 英俊

卒業おめでとうございます。これからの自分の道は自分で開拓してください。何もしなければ時間は過ぎるだけです。可能性は無敵大と言われますが、実現するかは行動次第です。皆さんの人生がより充実したものになることを応援しています。



### 学校で学ぶことからの脱却こそが人生

5J担任 大矢 健一

学校は、試験などで知識・技術が身に付くようにできてますが、社会に出ると自分でこのサイクルを作り、さらに人間力のようなもののレベルも上げていく必要もあり、そのためには自分の倫理観・正義感を見つめることにもなることでしょう。応援しています。



### 卒業した後に

5C担任 遠藤 典男

年号が令和に変わり最初の卒業生となる皆さんは、次の年号も知ることになるだろう。その頃、皆さんは働き盛りで満ち足りた生活を謳歌していることを願います。高専5年間で学んだことが人の役に立つことになれば、さらに良いと思います。



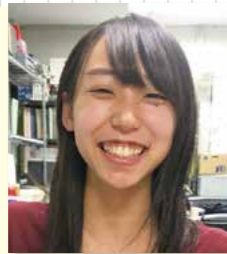
# 進学・就職 体験記

就職先に内定した先輩、大学の編入学・大学院入学試験に合格した先輩に体験記を書いていただきました。  
下級生の皆さん、ぜひ参考にしてください。

## 就職

### インターンシップを通して

5C 田尻 晴美  
(長野市立東北中学校出身)



4年生になった当初、自分がどのような企業に就職したいのかわからない、という悩みがありました。しかし、いくつかの企業でインターンシップを行なって、企業の方と接したり、社内の雰囲気を感じたりすることで、企業に対して、自分が何を求めているのかが少しずつ分かってくるようになり、自分に合った企業を見つけることができました。自分の目で企業を見て、感想を持ったり、違いを見つけることが、自分の求める企業を見つけるために大切なことだと思いました。

## 進学

### 後悔の無いように

2AE 高木 聡太  
(上田市立第五中学校出身)



「技術は使われてこそ意味がある」専攻科学外実習先の東工大研究室で、この考え方に触れました。以来、「もっと技術を活用して社会に貢献したい」と思うようになり、東工大大学院を受験しました。

進学準備は地道で辛いものでしたが、2年間東工大で研究を中心に学べることを考えると、挑戦して良かったと心から感じています。

大学院進学は、よりレベルの高い環境に身を置くことができるチャンスです。やらない後悔よりも、挑戦した後悔。自分の糧となるものは必ずあるので、失敗を恐れずチャレンジすることが一番大切だと思います。

## 就職

### 悔いない選択

5S 松川 真子  
(佐久市立浅間中学校出身)



私は「就職したい」と早くから決めていたものの、どんな企業に就職したいのかが漠然としていました。そこで3年の春、インターンへ行くことを決意。その経験により就職について明確に考えられるようになりました。

そして4年の春、学校で行なわれたインターン企業説明会で、私が就職を決めた企業と出会いました。自分の求める条件に合う企業と出会い、就職まで余裕を持って進めることができたのは、3年からの貯蓄のおかげです。

何年もの将来を決めるのに時間をかけて損はないです。ぜひ、悔いのない選択を。

## 進学

### 編入のすすめ

5J 清水 翔仁  
(飯山市立城北中学校出身)



編入学は決して簡単ではありません。実際に、私は当初志望していた大学に全て落ちています。そうならないために、まず志望校をしっかりと決めましょう。当たり前ですが難易度の高い大学を受ける際には、確実に受かる自信のある滑り止めを見つけることが大切です。また受験勉強は早ければ早いほど有利です。特に物理、数学、TOEICは頻出科目であるため最優先で勉強しましょう。受験勉強は頭の良さ以上に精神力が試されると思います。時には全てが嫌になる時もあると思いますが、将来の自分のためにも、周りの友達と助け合いながら頑張ってください。応援しています。

## 進学

### 夢を追いかけて

5M 北澤 勝文  
(下諏訪町立下諏訪中学校出身)



私は、幼い頃から「ロボットを作る人」になることが夢でした。ですから本科では4年間高専ロボコンに携わってきましたが、そのようなロボットを作る日々の中で、本科で学べることだけだと知識が不足していると感じ、さらに高水準・広範囲の学習が必要であると思いました。これが進学を決意したきっかけです。

これからの Society 5.0の社会ではますます工学の重要性が増していきます。

時代に適応するため、夢を叶えるため、今の自分に慢心することなく、日々精進していきましょう。応援しています。

## 進学

### 自分のペースで

2AP 進士 陽平  
(信大附属松本中学校出身)



高専に入学した当初は周りの人ほど明確な目標がありませんでした。自分は最終的に大学院進学という結果となりましたが、高専には本当に色んな人がいるので周りの声に影響されず、自分のペースで進路を考えていくのが良いと思います。計画的に進まなくて悩むこともありますが、進んだ先で後悔するのではなく、そこでやるべきことをしっかり進めていくのが大切だと思います。高専生を評価して下さる方は多くいらっしゃるの自信をもって編入、院試にチャレンジしてみてください。

## 進学

### コツコツやりましょう

5E 大平 瑞季  
(喬木村立喬木中学校出身)



私は、先生やOBの方と話す中で、進学することでできる仕事の選択肢が増えると考え、進学に決めました。進学先は、特に研究室を調べ、入ってみたい研究室があるかどうかで決めました。

受験勉強では、過去問を中心に対策をし、わからなければすぐに先生や友達に聞きに行っていました。受験勉強中は、これまで積み上げてきた勉強が大切だと感じました。完璧にマスターしていなくても、少しでも内容を覚えていればそれが足掛かりとなって問題の理解に繋がります。計画的に頑張ってください。



## 先輩からの声

- 自分のやりたいことを明確にしよう。
- 学生のうちにやりたいことをやったほうがいい
- 面接練習はいろんな先生にお願いしてやってもらおう。
- 面接では質問に対して一言で答えるのではなく、何故そう思うのかを具体的に述べるとよい。
- 就活に早いということはない！早くから企業研究をしよう！
- 授業の内容や作った物について面接で深いところまで聞かれたので、しっかりと理解しておけばよかった。
- 何事にも一生懸命に取り組もう！
- なにか1つでもアピールポイントがあるとだいぶ有利になる。

## 就職編

- 調べるだけでは会社の雰囲気などがわからないので、積極的にインターンシップに行こう！
- 妥協せずに絶対にこの企業でなければだめだと思えるような企業を探そう！
- 何からすればよいかよくわからなかったら、とりあえず先生に相談しよう。先生はたくさんの企業を知っています。
- 就職したらなにをしたいかを明確にするとある程度業種や会社が絞れる。



## 先輩からの声

- 志望校は早めにきめた方がいい。
- 3、4年で高い成績を取っておけば、推薦が狙える。
- 大学で何がしたいのか、その大学を卒業して何がしたいのか決めておく。進学を目的にしない。
- 試験科目が年度ごとに変更されることがあるので、要項はよく確認しておく。
- 試験の過去問には解答がない場合もあるので、早めに入手して科目の先生と解答を作ることから始めると良い。
- ネットやパンフレットのみだと分からないことが多いので、オープンキャンパスなどを活用して実際に大学に行ってみよう。
- 第二希望や滑り止めは、志望校と似た試験科目のところを選ぶと勉強しやすい。

## 進学編

- TOEIC スコアが必要になる学校もあるので、4年生の内に高スコアを獲得しておくと思う。
- 勉強はだいたい計画通りには進まないなので、早めに始める。
- 大学選びに迷ったときは、学科の先生に相談するといいいアドバイスがもらえる。
- 授業の内容を定期テストごとに理解しておく、受験勉強が楽になる。
- 自分の長所やアピールできること、成長したことを意識して生活しておく、面接で答えやすくなる。
- 面接は先生に心が折れるくらい練習してもらおうと本番で緊張しにくい。
- 勉強すれば偏差値が高い学校にも意外といけるので、とにかく諦めずに勉強する。

# 第54回 工嶺祭

こんにちは、工嶺祭実行委員会です。  
 第54回工嶺祭は例年と違う所が多くあり、盛り上がりましたね。  
 今までにない工嶺祭を作り上げられていたと感じました。  
 第54回は自然災害により、日程を変えて12月14日のみの開催となりましたね。  
 これから詳しく見てみましょう！



## 昼ステージ

昼ステージではアカペラ、ダンスなどのフリーステージが行なわれました。それぞれが練習してきた成果が出ていて、素晴らしい発表でした。



# Generating...



午前中は体育祭の代わりとして、「気配切り」が行なわれました。各クラス2名ずつで学年対抗戦となっていました。相手に対して当てようとする姿や味方がわからず自滅する姿が見られ、選手も観客も白熱する競技でした。



## コース展示

それぞれのクラスが協力して作った展示は想像力、創作力が高く、多くの人に楽しんでいただけました。その中で4Eの「高専フレンドパーク」がチャンプ賞に選ばれました。



## 学年対抗 競技



## 夜ステージ

夜ステージでは5年女子、軽音、DJなどの音楽祭や抽選会が行なわれました。最後にテーマ曲の「ともに」をみんなの心を一つにして歌ったことは、忘れがたい思い出となりました。



第54回工嶺祭はテーマである「Generating...」にふさわしく、新しいことを多く作り出せていました。例年とは違い1日しかありませんでしたが、新しい時代令和の幕開けにふさわしく輝かしい工嶺祭になりました。

# 【参加報告】信州ベンチャーコンテスト

私は信州ベンチャーコンテストに出場し、高校生部門でグランプリを受賞しました。このコンテストは、信州を元気にするビジネスプラン・アイデアを発表し、企業経営者、八十二銀行、長野県、信州大学などの関係者により審査されるものです。また、参加者と支援者との交流・マッチングも行ない、創業意欲の向上やビジネスプラン実現の促進も目的とされています。

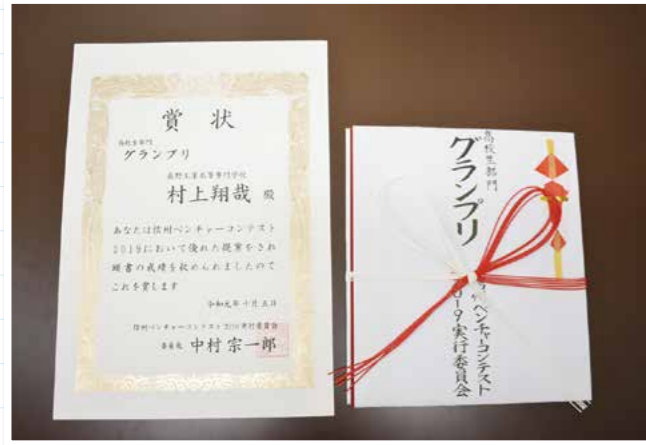
私の提案したビジネスアイデアは、「Agridol(アグリドル)～あなたの推しの生産者が見つかる～」という、農業とITを組み合わせたサービスです。このサービスでは生産者のアイドル化を

掲げています。まず生産者と消費者の出会いのきっかけとなるインターネットサービスを提供し、さらにマルシェイベントを行なうことによって生産者のファン構築をサポートします。

今回は支援者の獲得には至りませんでした。今後、ブラッシュアップや新たなアイデアの発案を行ない、起業を将来の選択肢の一つに考えていきたいです。



3S  
**村上 翔哉**  
(塩尻市立広陵中学校出身)



# eスポーツ / 茨城国体2019に出場してきました!



2-5(E)  
**山川 凌河**  
(長野市立川中島中学校出身)

私は「いきいき茨城ゆめ国体2019」で新設された文化プログラム「全国都道府県対抗eスポーツ選手権」グランツーリスモ部門の少年の部(6歳～18歳)に長野県代表として出場しました。

今年4月に行なわれたオンライン予選、6月に行なわれたオフライン県大会を勝ち上がり長野県代表として10月に行なわれた本戦に出場しました。

本戦は各都道府県から勝ち上がってきた強豪ばかりでしたが、予選では90名のうち12名に勝ち残り決勝に進出できましたが、決勝は8位で終わりました。

全国で8位に入れたという嬉しさの反面、グランツーリスモシリーズは15年間プレイしてきており、リアルモータースポーツ(レーシングカート)も13年間続け、全日本Jr選手権で戦ってきたため、正直もっと上位に行けたのではないかと悔しさが残りました。

2020年の国体でも開催されたらリベンジしたいと思います。

リアルモータースポーツは莫大な資金が必要で身体的リスクも伴いますが、e-sportsにはそれが無い事、今までそのスポーツの観客にしかたれなかった人がプレイヤーとして参加できることもe-sportsの魅力だと思います。

e-sports同好会にてグランツーリスモ班の活動も始まったので、興味のある方は是非ご入会ください。



# 弓道 第6回全国高等専門学校弓道大会

## 全国高専大会に出場して

3C 間藤 恵志(大町市立大麻中学校出身)



昨年8月末、鈴鹿高専主催による第6回全国高専弓道大会に出場しました。7月に行なわれた地区高専大会で男女団体優勝・個人優勝をはじめ、良い成績を収めることができ、各競技項目で全国高専大会への出場が決まりました。その後、夏季自主研修期間の強化合宿を経て臨んだ全国高専大会では、男子団体が優勝と射道優秀賞をいただくことができました。前回大会では松江高専に一步及ばず準優勝という結果に終わりました。その雪辱を果たすべく一年間練習を積み重ねてきたため、決勝で再び松江高専と対戦し、優勝が決まった時は感極まる思いでした。また、今回射道優秀賞を受賞できたのは外部顧問である竹内先生のご指導のお陰であり、深く感謝しています。



# ECONOPOWER 本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ2019 第39回全国大会

エコノパワー部が出場している大会では出場チームは年齢別に4つのグループに分けられますが、高専はグループⅢ(大学・短大・高専・専門学校クラス)への出場になります。

今年度は「Reginetta」チームが燃費1764.496km/lを記録して優勝しました。本校から出場したチームがグループⅢで優勝したのは平成8年の創部以来初めてです。このとき「Reginetta」チームが16.390kmのレースを走るために使ったガソリンは9.290ccという僅かな量でした。グループⅢには「Cygnus」チームも出場して燃費1489.062km/lで7位になった他、「BKB」チームが二輪車部門に出場して燃費185.082km/lで同部門の12位になりました。



## 今年度の活動について

3M 齋藤 康輝(長野市立篠ノ井西中学校出身)



今年度行なわれた「Honda エコマイレージチャレンジ全国大会」にて、エコノパワー部は優勝することが出来ました。グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校クラス)での優勝は創部以来初めてということでとても嬉しく思います。昨年度はなかなか記録が残せず悔しい思いをしたのですが、その反省を次に生かそうと部員一人一人が意識した結果優勝に繋がったのだと感じました。

しかし、大会を通していくつか課題が見つかった点もあるので、これで満足することなく、来年度も高記録と優勝目指し頑張りたいと思います。



# ROBOCON

## 第32回アイデア対決

# 高専ロボコン 関東甲信越地区大会

高専ロボコン2019 関東甲信越地区大会が、10月6日に東京都の町田市立総合体育館で開催されました。今年は「らん♪ RUN Laundry(らん・ラン・ランドリー)」というテーマで、「洗濯物干し」を競いました。本校ロボコンプロジェクトからはAチーム「森のイテヤつら」、Bチーム「WASSHO!!!」が出場しました。共に予選リーグ敗退となりましたが、アイデアが詰め込まれたロボットに会場から歓声が起こりました。Aチームはアイデア賞、特別賞「ホンダ技研工業株式会社」を受賞し、審査委員会推薦枠で全国大会出場を決めました。

全国大会は11月24日に国技館で開催されました。1回戦敗退となりましたが、結束バンドを用いた他に類を見ない独創的なアイデアが高く評価され、特別賞「東京エレクトロン株式会社」に加え、ロボコン4賞のひとつである「アイデア倒れ賞」を受賞しました。

### ブラックなんて言わせない

1-4 (E) 中村 季暉 (長野市立中条中学校出身)



僕がロボコンに入ったのは、昔テレビで見て憧れがあったからでした。ロボコンに入ってみると、アイデア出し、工場の作業、ロボの組み立てなど新鮮で楽しいことだらけで、まったく知識のない僕も、楽しくやっているうちに次々とできることが増えていきました。ロボコンのために学校に行っ

ていると言っても過言ではなかったと思います。

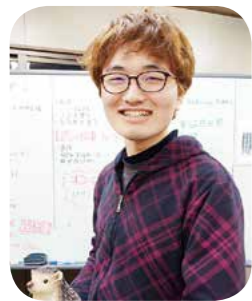
また、光栄なことに大会のピットクルーに選んでいただきました。全国大会では、過去最高の賞を獲得しましたし、他チームの技術や工夫を説明していただきとてもいい経験になりました。

ロボコンはめちゃ楽しいです。ぜひ一緒にロボコンしませんか？



### 挑戦ばかりだったロボコン

3S 丸山 泰輝 (箕輪町立箕輪中学校)



今年は部の長という全体をまとめる立場につき、自分が不満に思っていたことを変えようと挑戦してきました。成功も失敗もありましたが、全国大会出場＆受賞という結果を得ることができました。このような結果はリスクを冒した挑戦なしには得られなかったものだと思います。失敗が怖くても最初の一步が大切だと実感した1年でした。僕も入部当初は何もわかりませんでしたが、3年間でここまでレベルアップすることができました。ぜひ高専ロボコンで最初の一步を踏み出してみましょう。

### 4年目の高専ロボコン

4S 日基 智己 (木島平村立木島平中学校)



今年、私たちBチームは、満点を取り、優勝することを目標に掲げました。半年間、試行錯誤を繰り返し、2台のロボットを作り上げて行きました。しかし、10月の地区大会では、満足のいくパフォーマンスを披露できず、予選リーグで敗退しました。私たちが目標としていた満点をいとも

容易く達成するチームがありました。そのようなチームから学び、私たちがなぜ負けたのか反省し、今年の悔しさを5年目のロボコンで晴らしたいです。私はこんなにも自分を熱くしてくれるロボコンが大好きです。

# PROCON

## 全国高等専門学校

## 第30回プログラミングコンテスト

全国高等専門学校第30回プログラミングコンテストが、10月13日・14日に宮崎県の都城市総合文化ホールで開催されました。

本校からは競技部門に「高専の陣取り概論2」が出場しました(4J上松崇太郎、3J岩崎凌汰、2J石田光、指導教員鈴木宏)。

競技内容は昨年のもを改良した陣取りゲームですが、複数チームとの同時対戦となっており、処理の高速性や精度などが求められる高度な内容でした。本校チームはファーストステージ第1セッションCリーグに出場し4チーム中3位で通過ならず、翌日の敗者復活戦Bリーグで3チーム中2位となり惜敗しました。来年度は10月10日・11日に苫小牧市民会館で開催予定です。



### 経験と知識

2-1 (J) 石田 光 (塩尻市立広陵中学校出身)



私は全国高等専門学校プログラミングコンテストの1人として出場しました。

競技部門では5月中旬から、モンテカルロ木探索という経路探索アルゴリズムを使い、プレイヤーとなるプログラムを作成し、大会に向けて調整を重ねていきました。

大会では、他のチームの技術力や発想には驚くばかりでした。また、企業ブースでは、企業についてより知ることができ、将来の参考になりました。

結果は、敗者復活戦敗退でしたが、普段できないような貴重な経験や、先輩からの知識など、多くのことを学びました。これからも、学校の授業や部活を通じて、たくさんの技術やアイデア、プログラミング言語に触れたいです。そして、将来「優れた技術者」になれるよう頑張りたいです。



# DESIGNCON デザコン2019 in TOKYO

全国高等専門学校デザインコンペティション(通称:デザコン)は、ロボコン(ロボットコンテスト)、プロコン(プログラミングコンテスト)に続く、第三の競技です。

構造デザイン、創造デザイン、空間デザイン、AMデザイン、プレデザコンの5部門で、互いのアイデアを競い合うもので、本年度も熱い戦いが繰り広げられました。長野高専は結果として受賞することはできませんでしたが、参加した学生はこれまでに学校で培ってきた学力、デザイン力、創造力を試す良い機会となったのではないのでしょうか。また、他高専の作品もよい刺激となったのではないのでしょうか。

来年度の舞台は「杜の都」仙台。ああ、牛タン食べたい。ささかま食べたい。



4年生チーム 橋梁名:ペンテ・ボンテ・ブリッジ

### (カミってる)デザコン in 東京

5C 蒲生 麗 (千曲市立更埴西中学校出身)



デザインコンペティション同好会は、全国の高専で競い合われるデザインコンペティション、通称デザコンに取り組み同好会です。プロコン、ロボコンに次ぐ第三の競技として知られています。空間、構造、創造、AM、プレデザコン、の5部門があり、今回、東京で開催された本選に臨むことが出来たのは、自分が所属している構造部門のみでした。

今年の構造部門は、指定された紙(去年は銅線でした)でより軽く、より景観性に優れた橋梁を作成し、それで所定の荷重に耐える、というものでした。

結果、賞を頂くことは叶いませんでしたが、出場した2チーム共、所定の荷重を耐えきることが出来たので良かったです。



5年生チーム 橋梁名:THE ORIGIN

## 令和元年度後援会総会報告

令和元年度後援会総会は、6月8日(土)13時より長野市「ホテルJALシティ長野」において、開催されました。総会には、14支部から選出された理事・代議員及び総会代議員64名が出席し、欠席者16名でした。

議事は平成30年度活動について、会務・事業・決算報告、令和元年度活動について、会務計画(案)・事業計画(案)・予算(案)の議案は慎重審議の結果、いずれも原案通り賛成多数により、可決されました。

今年度の予算は、財政状況の悪化により積立金「財政安定化基金」の取崩を行なうことになりました。しかし、後援会としての援助は出来るだけ行なっていきたいと思えます。なにとぞご理解をお願いします。

総会終了後、松下副校長よりご挨拶と総務主事のお立場からお話を伺い、5名の副校長からお話を伺いました。



## 令和元年度予算およびH30年度決算報告

### 【収入の部】

(単位：円)

科目	R元年度予算	H30年度決算	備考
入会金	3,780,000	3,840,000	新入生 20,000/1人・編入生 10,000/1人
会費	20,767,500	20,689,500	19,500/1人
特定預金取崩収入	2,500,000	0	財政安定化基金取崩
その他収入	498	501	預金利息・雑収入
繰越	3,344,662	4,063,567	
合計	30,392,660	28,593,568	

### 【支出の部】

(単位：円)

科目	R元年度予算	H30年度決算	備考
課外活動	14,205,000	12,228,882	部活動・高専体育大会旅費・ものづくり支援
教育援助	3,515,750	3,004,771	教育支援・学校行事・専攻科・学生図書
その他援助	6,310,000	5,001,069	学生指導・寮生・国際交流・教員課外活動等支援
運営費	4,899,000	4,202,243	会議費・役員旅費・支部運営費・事務費・給与・慶弔費
特定預金	300,000	600,000	事故対策・周年事業・財政安定化積立
予備費	1,162,910	211,941	
合計	30,392,660	25,248,906	

## 校内短信 INFORMATION

### 学生のボランティア活動について

このたびの令和元年台風19号による被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。台風19号は千曲川流域等に甚大な被害をもたらしました。本校は被害を免れましたが、学生および教職員の中には自宅が浸水するなど被災した者もあり、工嶺祭の延期と1週間の休校を余儀なくされました。そうした中、多くの学生が自主的に災害ボランティアに参加し、多くのメディアに取り上げられました。学生たちによる、被災した家屋での泥のかき出しや家具の片付け作業、避難所での物資の提供や炊き出しの様子等が伝えられ、若者達の行動力の高さに驚くとともに、学生たちから学ぶことも多くありました。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。



### 表紙のことば 冬を楽しむ 一般科教授 大西 浩次

冬の白樺の樹の向こうに星空が広がる。オリオン座のベテルギウスは、天文学的には「もうすぐ=10万年以内」超新星爆発を起こす。その様子をシミュレーションしてみよう。ベテルギウスの中心核で元素合成が進み、シリコン燃焼が始まると、その時放出される低エネルギーニュートリノが、神岡の液体シンチレータ検出器カムランドで検出される可能性がある。そうして燃焼開始から約1週間後、鉄となった中心核が重力崩壊を起こす。超新星爆発の開始である。この時、放出される大量のニュートリノがスーパーカミオカンデで検出される。同時に、隣接する重力波望遠鏡カグラ(KAGRA)で重力波が検出される。それから約2日後、衝撃波が光球面を通過する際に数時間だけ青白く眩しく輝く。そして徐々に増光が始まる。こんな瞬間に立ち会いたいものだ。

<http://www.nro.nao.ac.jp/~uchuuken/html/index.html>

撮影日時：1月20日、菅平高原

撮影者：大西浩次

(注)M、E、S、J、Cと記す場合は、それぞれ、機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、電子情報工学科、環境都市工学科の略称です。また、AP、AEと記す場合は、それぞれ、専攻科生産環境システム専攻、専攻科電気情報システム専攻の略称です。

「学園だより」バックナンバーは以下にアクセスすることにより、PDFでダウンロード可能です。 <http://www.nagano-nct.ac.jp/>